

平成 27 年 2 月 27 日

東京第五検察審査会事務局長

志岐武彦、石川克子

開示資料についての質問状

平成 24 年 1 月 18 日と 25 年 1 月 21 日に 2 度にわたって、東京第五検察審査会の平成 21 年第 4 群と平成 22 年度第 1、2、3 群の検察審査員候補者名簿を開示請求した。それぞれ平成 24 年 2 月 15 日に東五検審第 43 号 44 号、25 年 1 月 21 日に東五検審第 6 号にてその名簿の開示を受けた。

請求時期が違っても名簿は一つしかないのと同じものが開示されるはずであるが、平成 22 年第 1、2、3 群については、添付 4 及び添付 5 に示すように別物の名簿が開示された。

添付 4 及び添付 5 の名簿は、22 年度第 1 群のうち一枚だが、第 2 群、第 3 群の名簿も別物である。

なお、平成 21 年第 4 群については、24 年開示と 25 年開示の名簿は外見上同一の名簿とみられる。

平成 22 年第 1、2、3 群名簿は、24 年開示のものと 25 年開示のものどちらかが偽造、あるいは両方偽造である。

週刊ポストが、2013 年 4 月 5 日号【小沢一郎を「刑事被告人」にした検察審査会新たな重大疑惑】で偽造問題を取り上げている。

質問

1. 何故 2 種類の名簿が存在するのか？
2. それぞれの名簿を、いつだれがどのような目的で作成したのか？

添付資料

1. 東五検審第 43 号
2. 東五検審第 44 号
3. 東五検審第 6 号
4. 名簿 1 24 年開示
5. 名簿 2 25 年開示
6. 週刊ポスト 2013 年 4 月 5 日号記事

以上